

船橋市立医療センターNews No.70

●発行年月日/令和8年10月1日 ●編集/船橋市立医療センター広報委員会 ●発行責任者/院長 茂木 健司
〒273-8588 船橋市金杉1-21-1 ☎047-438-3321(代) <https://www.mmc.funabashi.chiba.jp>



「高尾山の紅葉」当院前事務局長撮影

11月30日は「人生会議の日」

船橋市立医療センター院長 茂木 健司

皆さんは、ACPをご存じでしょうか。ACPは「アドバンス・ケア・プランニング」の略で、厚生労働省により「人生会議」という愛称が付けられています。「いい（11）看取り（30）」の語呂合わせから、11月30日は「人生会議の日」とされています。

ACP（人生会議）とは、命の危機などのもしもの時に備えて、自分自身がどのような医療や延命治療を望むか、ここで療養生活を送りたいかなどを、元気なうちから家族や身近な人、医療従事者と繰り返し話し合い、共有しておく取り組みです。

「人生会議」という愛称には、「終末期のことを医療現場だけでなく、家族の集まりや食卓など、日常生活の中で自然に語り合えるようになって欲しい」、との願いが込められています。今年8月に行った当院の臨床研修医採用試験でも、ACPに関する小論文を出題しました。医療従事者にとっても大切なことです。この機会に、皆さんも、人生会議（ACP）してみませんか。詳しくは厚生労働省のホームページをご覧ください。

<https://www.mhlw.go.jp/acp-jinseikaigi/>



▲
厚生労働省
ホームページ

目次

特集 フットケアチームの活動について	2～3
心肺蘇生を行った清掃スタッフへ、院長より感謝状を贈呈しました！ /日本化学療法学会で優秀演題賞を受賞しました	4
緩和ケア病棟で夏祭りを開催しました/第60回公開医療講座/納涼会で親睦を深めました	5
医療を学ぼう! in 図書館/研修医のつぶやき	6
精神科リエゾンチームでの看護活動のご紹介/公開医療講座 次回のお知らせ/採用募集	7
外来担当医師一覧表	8

船橋市メール/
LINE公式アカウント

LINEは
こちら ▶



メールは
こちら ▶



特

集

フットケアチームの活動について

循環器内科副部長／フットケアチーム 岩田 曜

①

フットケアチームとは？

「足のキズが治らない」「足の指の色が黒くなった」「足が腐って、もう切断だと言われた」といった相談やご紹介が、当院には毎週のように寄せられています。多くは糖尿病や下肢の動脈硬化を背景に、足に潰瘍や壊疽が出来た患者さんです。これらはキズの手入れだけでは治らず、原因となった疾患の治療も必要であり、放置すれば本当に足の切断に至ってしまうこともある恐ろしい状態です。

令和元年に誕生した当院のフットケアチームでは、患者さんを下肢の切断から守るため、形成外科・皮膚科・代謝内科・循環器内科の医師と慢性疾患看護専門看護師等が力を合わせて治療に取り組んでいます。令和7年度は年間で実に121件、つまり毎月10人以上の患者さんのケアにあたりました。



②

足にキズができれば、どうなるの？

足にキズができてから当院に来る経路は様々です。ご自身で相談に来る方もいらっしゃいますが、多くは近隣の医院・クリニックや、他病院の内科・皮膚科・整形外科、近年では透析クリニックからのご紹介です。最初に軟膏などを試してもなかなか良くならない（2週間以上）ということで相談をいただくケースがほとんどです。キズの発見から当院へのご紹介までの期間が長いほど重症な傾向にあり、当院でも最初は通院治療を検討しますが、既にキズが深く大きくなっている場合は、速やかに入院治療へと移行します。

③

実際の治療と入院生活はどんな感じなの？

入院後はフットケアチームで情報を共有し、各科がそれぞれの専門性を活かし治療方針を決定します。治る可能性のあるキズには適切な軟膏を選択し、毎日の手入れの方法を統一する一方で、再生が難しい部分は早めに切除して感染の広がりを抑えます。また、糖尿病や高血圧と

いった生活習慣病の管理も徹底します。内科的な処置として血管を広げる薬や細菌を退治する薬の点滴を行い、必要な患者さんには下肢動脈のカテーテル治療や皮膚移植術といった特殊な治療も検討します。そうして下肢切断を免れたり、切断範囲を縮小できる患者さんを一人でも増やせるよう、チーム一丸となって尽力しています。

入院期間は数週間から数か月に及ぶこともありますが、キズの洗浄と軟膏塗布は病棟の看護師が毎日交代で行います。また、体力が落ちないように一人一人に合わせて栄養を調整したり、運動能力に合わせてリハビリを行ったりすることで、治療後になるべく早く生活復帰ができるようサポートします。

④

退院後の生活まで見据えたサポート

退院までに、それぞれの患者さんの事情に合わせて、退院後の生活や通院、自己管理がスムーズに効果的に行えるような在宅サービスへの連携もお手伝いします。退院後もキズのケアが必要な患者さんは、退院までにご自身やご家族で手入れの仕方を覚えていただき、訪問看護の導入もおすすめるほか、通院時にはフットケア外来で看護師が処置や指導を継続します。また、かかりつけ医と連携して再発予防のためのアドバイスを定期的に行います。

このようにフットケアチームでは、患者さんが来院してから治療を受けて自宅や施設に戻るまで、一貫して、偏りなく、最大限のサポートが受けられるよう、メンバーのみならず院内のあらゆる人材と連携しています。

「足にできた傷が治らない」「他院で切断の恐れがあったと言われた」といった患者さん、ならびに、かかりつけ医の先生は、ぜひ当院にご相談ください。



心肺蘇生を行った清掃スタッフへ、 院長より感謝状を贈呈しました！

先日、当院の立体駐車場で患者急変の事案が発生し、院内放送により応援を呼びかけたところ、清掃スタッフ2名が最初に駆け付けました。倒れていた患者さんの顔面は蒼白で、呼吸も心音も確認できなかったものの、一度「ウー」と息をしたのを見て救命の必要性を感じ胸部



圧迫を開始したとのことです。この初期対応もあり、看護師に交代した後、無事に蘇生に成功しました。当院では危機的状況で

も冷静に対応した姿勢を高く評価し、院長より感謝状を贈呈しました。

今回の事例をきっかけに、医療スタッフだけでなく院内全スタッフの救命講習受講をさらに推進し、患者さんの安全を守る体制を強化してまいります。



日本化学療法学会で優秀演題賞を受賞しました

2026年5月22～24日で開催された第100回日本感染症学会総会・学術講演会/第74回日本化学療法学会総会合同学会にて、当院薬剤師の朝倉美加が一般演題（ポスター）で優秀演題賞を受賞しました。

発表演題は『メロペネム供給制限下での使用許可制導入とその評価』です。

近年、医療現場では抗菌薬の深刻な供給不足が続いています。また、メロペネムという抗菌薬は重症感染症において非常に重要な薬剤ですが、一方で、不適切な使用による薬剤耐性化（微生物に対して薬が効かなくなること）が世界的に問題となっています。このような抗菌薬の供給不足と薬剤耐性の問題に対応するべく、当院では、2024年10月からメロペネムの使用許可制を導入しました。

本発表では、メロペネム使用許可制運用の取り組みと、使用許可制の導入がメロペネム使用量抑制につながったことを報告し、このような評価をいただきました。

「今回の受賞は、多忙な業務の中で新しい運用の取り組みを理解しご協力くださった皆様のサポートがあったからこそと考えております。この成果を励みとし、今後も安全で質の高い医療・業務の発展に貢献できるよう邁進してまいります。（朝倉薬剤師）」



※この「医療センター News」のバックナンバーは当院ホームページでご覧いただけます。



緩和ケア病棟で夏祭りを開催しました



ボランティアの方によるハープ演奏で幕を開け、水風船遊びや夏らしい顔はめパネルでの記念撮影を楽しみました。顔はめパネルは小児科病棟の保育士が作成したもので、かき氷やスイカ、ひまわりなど、夏を感じられるデザインとなっています。



また、参加者の皆さんで「海」や「たなばたさま」「にじ」を歌い、最後にはスクリーンに映し出された打ち上げ花火を鑑賞しました。病棟にはあたたかな歌声が響き、患者さんやご家族の笑顔があふれるひとときとなりました。

今後も患者さんにご家族に、季節の移ろいを感じながら心穏やかな時間を過ごしていただければ幸いです。

「一緒に学ぼう腎臓病教室

第60回 公開医療講座



～腎臓病って何なの～」を開催しました。

7月9日(木)に市民文化創造館（きららホール）で、清水英樹腎臓内科部長を演者とした公開医療講座を開催しました。

腎臓は五臓六腑として取り上げられている重要な臓器であり、慢性腎臓病は5人に1人が罹患する国民病です。

沈黙の臓器と言ってもいい腎臓の理解を深めるべく、「腎臓は何をしているか?」「腎臓の構造は?」「なぜ、腎臓病が大事か?」「腎臓病はどのようなときに考えるか?」「腎臓病と言われたらどうする?」という流れで、わかりやすく解説いただきました。



納涼会

で親睦を深めました

7月23日(木)に船橋市立医療センター・連携医納涼会が開催されました。今回で11回目となる納涼会は、「顔が見える地域医療連携」構築の貴重な場でもあり、地域の連携医療機関の先生方、医療従事者の方々や当院医師等を含めた総勢107名が参加し、お互いの親睦を深めました。

当日は、地域の先生方に対し、丸山病院事業管理者から日頃の当院運営へのご協力に対する感謝を述べ、続いて、医療センター講演会として、青山循環器内科副部長、畑山脳神経外科部長、有賀診療局長の順に講演を行いました。茂木院長の乾杯の挨拶後の懇親会では、当院医師・職員と地域の先生方が意見交換を行い、最後は、鳥海船橋市医師会長のごあいさつで、無事お開きとなりました。

当日ご参加いただいたすべての皆様に感謝申し上げます。



当院は省エネに取り組んでおります。ご協力お願いいたします。

医療を学ぼう！ in 図書館

当院では、市民の皆様に身近な船橋市内の図書館において、毎月医療講演会を開催しております。

●最近の講演会の様子

医療講演会（船橋市西図書館）

8月20日(木)「最近の糖尿病薬について」 代謝内科医長 寺山 諒

残暑厳しい中、今回も多くの方が参加されました。

今回は、生活習慣病の代表ともいわれる糖尿病についての講演で、最近の治療薬のお話でした。糖尿病治療の目標は「糖尿病のない人と変わらない寿命と生活の質」であることがまず皆さんに伝えられました。代表的な治療方法であるインスリン注射について、患者の負担となっている注射回数の頻度を下げる手法が出てきていること、インスリン以外にも合併症抑制効果のある薬剤が多く開発されていることの説明があり、これら最近開発された薬剤のうち、代表的な二つについて、その効果、副作用などのお話がありました。講演後のアンケートでは「新薬について知ることができてよかった」「薬の選択肢があるということがわかった」「糖尿病薬に関する知識を深めることができた」などの意見がありました。暑い中足を運んでくださった皆様、ご参加ありがとうございました。



医療講演会（船橋市西図書館）

7月22日(水) 人生の最後に受けたい医療

緩和ケアセンター長 有賀 隆

9月16日(水) 心不全をご存知ですか？ ～実はよくある、多くの方に関わる病気です～ 循環器内科部長 沖野 晋一

●今後の予定

船橋市立医療センターD館3階講義室にて特別開催 申し込み不要 先着50名

日程	演題	演者
10月22日(木)14:00～15:00	「妊娠から出産まで～当院での出産について～」	産婦人科医長 横須賀 愛恵
	「母乳のこと」	B4病棟 副看護師長 須藤 美代
	「なぜ、赤ちゃんは泣くの」	B4病棟 主任助産師 永田 亜矢子
12月17日(木)14:00～15:00	知ってほしい肺がんの基本と最新治療	腫瘍内科部長 平野 聡

船橋市西図書館 要申し込み 先着30名

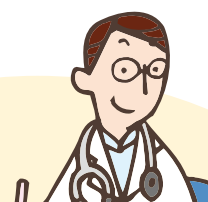
毎月1日9:30から受付開始：船橋市西図書館（TEL:047-431-4385）へお申し込みください。

日程	演題	演者
11月19日(木)14:00～15:00	老後の人生を健康に楽しく生きる秘訣 ～運動、食事、心の安定～	整形外科部長 鮫田 寛明

※予定は変更や中止する場合がありますので、広報ふなばしや図書館HP、医療センターHP等でご確認ください。

患者支援センター

研修医のつぶやき



研修医 沼島 悠貴

医師を志した理由を聞きました

今年度入職いたしました、研修医1年目の沼島悠貴と申します。入職から早くも半年が経ちました。

私が医師を志したのは、病気を治し患者さんの人生を支えることができる医師という職業に大きな憧れを抱いたからです。幼い頃、よく病院にかかっていた際に先生が優しく声をかけてくださったことを今でも覚えています。身近に医療従事者がいた訳ではありませんが、家族のように温かく接して下さる先生との出会いがあり、いつか私もそのような医師になりたいと思いました。



まだまだ未熟ではありますが、先生方や先輩、そして患者さんから多くのことを学ばさせていただく毎日です。同期と切磋琢磨しながら、皆さまに信頼していただける医師を目指して努力してまいります。

病院ボランティア（患者さんの案内や図書の整理など）を募集しています。詳しくは、医事課まで

精神科リエゾンチームでの看護活動のご紹介

精神科リエゾンチームは、体のご病気で入院されている患者さんやご家族が、安心して治療を続けられるよう心の面からそっと支える専門チームです。精神科医・心理療法士・精神看護専門看護師などが病棟や外来と連携し、不安や気持ちの落ち込み、せん妄などのご相談に丁寧に寄り添っています。

当院では平成8年から活動を続け、平成29年にはより気軽に心のケアを受けていただけるよう「リエゾンセンター」を設立しました。ご依頼をいただいた患者さんのもとへ精神科リエゾンチームのスタッフがお伺いし、気持ちのつらさが少しでも和らぐよう各部署と協力して支援しています。

入院中や外来通院中に眠れない、気持ちが沈む、不安が続くなどの際は、どうぞ主治医や看護師にお声がけください。当チームスタッフがお話を伺い、安心して治療を受けられるようお手伝いします。



公開医療講座 次回のお知らせ

第61回 「風邪だけじゃない！鼻・喉・耳の病気について」

日 時 令和8年10月8日(木) 14:30～15:30

会 場 きららホール（船橋FACEビル6階）

参加費 無料

講 師 小林 皇一（耳鼻いんこう科部長）

定 員 当日先着190人(予約不要)

問い合わせ 医事課

【ご参加いただく方へのお願い】

※感染症の拡大状況によっては、予定が変更となる可能性があります。最新の情報は当院ホームページでご確認ください。

※マスク着用は個人の判断が基本となります。

※手洗い等の基本的な感染対策にご協力をお願いいたします。

※当日は発熱などの症状がある場合は来場をお控えください。

会計年度任用職員 採用募集



●看護師

◆夜勤専従

【仕事内容】手術室、病棟における看護業務

【時 給】2,222円～ ※賞与あり



【問い合わせ】総務課

※詳細は当院ホームページの採用情報をご覧ください。

船橋市立医療センター

電話番号 047-438-3321 (代)

外来担当医師一覧表

令和8年10月1日現在

			月	火	水	木	金	備考
内科	新患		福田国彦/中尾彩理紗	清水 英樹 平野 聡/安藤 健	友藤 仁美	[交替医]	野田健斗/藤田圭太	(月)第1・3・5福田、第2・4中尾 (火)第1・3・5清水、第2平野、第4安藤 (金)第1・3・5野田、第2・4藤田
	呼吸器		天野 寛之 野田 健斗 東郷 聖子 伊在井亮/石井清文	鹿野 幸平 中村 純 伊在井 亮 中尾彩理紗/福田国彦 西村 駿	天野 寛之 藤田 哲雄 安藤 健/藤井渚夕 西村 駿 石井 清文	中村祐之/藤田圭太/尾崎大祐 中村 純 水本英明/福田国彦 笠松伸吾/東郷聖子 中尾 彩理紗	鹿野 幸平 藤田 哲雄 小林 照宗 藤井 渚夕 笠松 伸吾	(木)中村(祐)が午前、藤田/尾崎が午後 (第1・3・5藤田、第2・4尾崎) 一段目と三段目の医師は、原則、 消化器内科からの予約患者のみ (水)安藤が11時まで、藤井が11時から (木)水本が午後1時30分まで、福田が午後 1時30分から (月)第1・3・5伊在井、第2・4石井 (火)第1・3・5中尾、第2・4福田 (木)第1・3・5笠松、第2・4東郷 (火)西村、(木)中尾は、午後のみ (木)肥満症治療薬外来は完全予約制(第 1・3・5河村、第2・4寺山)
	消化器							完全予約制
	代謝		河村 治清	河村 治清	寺山 諒	友藤 仁美 肥満症治療薬外来 高橋 秀和	寺山 諒	完全予約制
	腫瘍		山口 裕之 清水 英樹	高橋 秀和 原 千晶	平野 聡		平野 聡 清水 英樹	完全予約制
	腎臓		窪田沙也花/清水英樹	盛田 一智 原 勇人			腹膜透析外来 原 勇人/笠原 千晶	完全予約制
	リウマチ・膠原病		山口 裕之 内山 貴史 杉岡 怜奈	安部 樹 沖野 晋一 後藤 宏樹	岩田 曜 林 智彦/内山貴史	山口 裕之 丘 慎清/須藤洋尚 青山 里恵	清水 英樹 石脇 光 福澤 茂	(月)午前は、第1・3・5窪田、第2・4清水 (金)午前は、第1・3・5原、第2・4笠原 (月)杉岡は第2のみ (水)第1・3・5林、第2・4内山 (木)第1・3・5丘、第2・4須藤
	循環器科		青山里恵/岩田 曜 石脇 光/沖野晋一	石脇 光/青山里恵	丘 慎清/須藤洋尚	沖野晋一/後藤宏樹	内山貴史/林 智彦	(月)第1青山、第2・4岩田、第3石脇、第5沖野 (火)第1・3・5石脇、第2・4青山 (水)第1・3・5丘、第2・4須藤 (木)第1・3・5沖野、第2・4後藤 (金)第1・3・5内山、第2・4林
	心臓血管センター							午前11:00~
	心臓血管外科		[手術日]	櫻井学/大森智瑛	[手術日]		[手術日]	午後1:00~ 予約患者のみ
緩和ケア内科	新患		大矢 雅樹 大矢雅樹/宇田川雅彦	宇田川雅彦 宇田川雅彦/青木杏奈	有賀 隆 中谷 圭吾	宇田川雅彦/大矢雅樹	有賀 隆 大矢 雅樹 中村 知	新患は事前予約が必要(電話も可) (月)・(金)大矢は午前11時00分~ (月)宇田川は午後1時30分~ (木)午前は宇田川/大矢が隔週交代、午後は大矢
精神科	再来							
小児科			島崎 俊介 青藤 潤	佐藤 純一 岸村 美有	丹羽 淳子 内山 薫	木谷 豊 河内 遼	伊賀 裕子 坂井 美穂	
新患(消化器・一般)			[交替医]	[交替医]	[交替医]	[交替医]	[交替医]	(木)高木が午前、榎本が午後 (金)吉岡が午前、小寺が午後
消化器・一般			夏目 俊之 吉岡 隆文 青柳 智義 南村 真紀 三橋 弘崇 田口 智也 高瀬 完 (手術日) (手術日)	遠藤 悟史 [交替医]	野手 雅洋 青柳 智義 松崎 弘志 鮫田 寛明 染谷 幸男	小林 拓史 高木大地/榎本峻牙 [交替医]	吉岡 隆文/小寺 輝 大塚 亮太 松崎 弘志 南村 真紀 矢野 齊 照屋 裕紀 (手術日) (手術日)	完全予約制 (火)(木)は再診のみ (木)の二段目は原則、第1橋本、第2~ 5橋目
整形外科				大原 建 鈴木 諒		國安 晃弘 橋本瑛子/橋目俊輝 (手術日)		
形成外科				小野紗耶香 山口 真依 (手術日)	小野紗耶香 山口 真依 (手術日)	乳房再建外来 (手術日)	小野紗耶香 山口 真依	
脳神経外科	予約		内藤 博道 新美 淳 田坂 研太 (交替医)		畑山 和己 中村 元	安間 芳秀 (手術日)	根本 文夫 安藤 晃佑	(木)安間は第1のみ
脳神経内科	新患			[交替医]	内藤 博道 鶴岡 淳	[交替医]	[交替医]	完全予約制 (水)第1・3・5の午前のみ (木)第2・4の午後1:30~ (水)は予約患者のみ
呼吸器外科			荒牧 直知 佐藤 知	[手術日]	[手術日] 一ノ瀬修二	荒牧 直知 佐藤 知 木下 孔明	[手術日]	
皮膚科			川島 秀介 渡邊 裕太	山江 美歩 渡邊 裕太	川島 秀介 山江 美歩	川島 秀介 山江 美歩	川島 秀介 渡邊 裕太	新患は紹介状が必要
泌尿器科			藤原 夏樹 小野田雄介 大谷 美鶴 辻 虎伴/石井彩加	深沢 賢 樋口 耕介 石井 彩加	樋口 耕介 小林 和樹 佐々木直樹 [交替医] (手術日)	深沢 賢 小林 和樹 佐々木直樹 横須賀愛恵	田中 稔久 岩井 純平 横須賀愛恵 大谷 美鶴	(月)は辻が午前、石井が午後 (火)は婦人科のみ (水)・(金)の産科は予約患者のみ (月)・(火)・(水)は予約患者のみ (紹介状ありは可)
産婦人科								
眼科			加藤 雄己 [交替医] (手術日)	松枝 美文 [交替医]	小林 悠里 [交替医] (手術日)	小林 悠里 小林 晋二	日高 禎浩 太田 聡美	
耳鼻いんこう科			清水 駿 坂本 夏海 荒木 仁	[交替医] (手術日)	小林 皇一 坂本 夏海 小野澤正勝	[手術日] 荒木 仁 小野澤正勝	小林 皇一 清水 駿 小野澤正勝	完全予約制
放射線治療科								
麻酔科			[交替医]	[交替医]	[交替医]	[交替医]	[交替医]	予約患者のみ
歯科口腔外科			津川野の花/村野彰行	村野 彰行	村野 彰行	村野 彰行	村野 彰行	(月)津川が午前、村野が午後 新患は紹介状が必要
特殊外来	女性専用(内科)			鈴木優太郎				令和7年4月から休診
	脳神経内科(内科)			櫻井 学				午前 予約患者のみ(電話も可)
	ステントグラフト外来(心外)							午後0:30~
	ペースメーカー外来(循内)				[交替医]			午後1:00~
	高血圧外来(循内)			青山 里恵		沖野 晋一		(火)第2のみ (木)第3のみ
	小児循環器(小児)		佐藤 純一 河内 遼		佐藤純一/河内 遼			午後 予約患者のみ (水)第2・4佐藤、第1・3・5河内
	小児神経(小児)					牧野道子/内山 薫		午後 予約患者のみ (木)第1牧野、第2・3・4・5内山
	小児腎臓(小児)					三浦健一郎(月1回)		午後 予約患者のみ
	小児アレルギー(小児)				下条直樹/薄井 香		[交替医]	(水)第2・4 午前9:00~予約患者のみ (金)午後2:00~予約患者のみ
	小児内分泌(小児)					島崎 俊介		第1・2・4・5 午後 予約患者のみ
	小児外科(外科)					小松 秀吾		午前のみ(午後手術)
	遺伝カウンセリング(外科)						青柳 智義	午後1:00~4:00 予約患者のみ(電話も可)

担当医師は、状況により変更することがありますので、受診の際には当院のホームページ等でご確認ください。

※特殊外来の小児循環器、小児神経、小児腎臓、小児アレルギー、小児内分泌の予約および予約変更は午後2時から4時の間に小児科外来へ電話してください。